



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月13日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東
 コード番号 4343 URL <https://www.fantasy.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 信幸
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 グローバル管理統括 (氏名) 新田 悟 (TEL) 043 (212) 6203
 兼 リスクマネジメント担当
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	30,230	△45.7	△7,196	—	△7,420	—	△8,556	—
2020年2月期第3四半期	55,694	3.0	2,488	4.2	1,864	△12.3	112	△78.4

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 △8,855百万円(—%) 2020年2月期第3四半期 △144百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	△433.05	—
2020年2月期第3四半期	5.69	5.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	54,277	17,490	31.8
2020年2月期	55,739	27,128	47.8

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 17,262百万円 2020年2月期 26,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年2月期	—	15.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,500	△35.4	△7,800	—	△8,700	—	△11,000	—	△556.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年2月期3Q	19,762,025株	2020年2月期	19,751,625株
2021年2月期3Q	1,583株	2020年2月期	1,482株
2021年2月期3Q	19,758,181株	2020年2月期3Q	19,742,959株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年11月30日)における当社及び連結子会社の連結業績は売上高が302億30百万円(前年同期比45.7%減)となりました。営業損失は71億96百万円(前年同期営業利益24億88百万円)、経常損失は74億20百万円(前年同期経常利益18億64百万円)、新型コロナウイルス感染拡大による国内及び海外の店舗休業期間に生じた固定費等42億77百万円の特別損失及び法人税等調整額(益)21億97百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は85億56百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益1億12百万円)となりました。

世界的に広まった新型コロナウイルス感染症の拡大は、国内、中国及びアセアンの全事業において影響を及ぼしておりますが、段階的に売上の回復が進みました。第3四半期連結会計期間の前年同期比は17.2%減となったものの、第2四半期連結累計期間の前年同期比58.0%減に対して40.8ポイント増となりました。特に中国事業は既に前年を上回る水準まで売上は回復しており、国内事業も防疫対策を継続しながら積極的な売上対策を講じております。アセアン事業においてもフィリピンを除く4ヶ国が営業を再開しており、ベトナムとタイの売上回復が進んでおります。

当第3四半期連結累計期間は8店舗の新規出店をする一方で28店舗を閉店いたしました。これらの結果、2020年11月末の店舗数は国内432店舗、海外428店舗の合計860店舗(直営店850店舗、F C等10店舗)となりました。

(国内事業)

国内事業は、新型コロナウイルスに対する防疫対策の徹底を継続し、第3四半期連結会計期間はさらに売上の回復が進みました。10月度の曜日調整後既存店前年比は98.8%とほぼ前年水準まで回復しております。部門別ではプライズ部門が全国的な人気となった「鬼滅の刃」関連景品の展開を強化するとともに、モーリーファンタジー限定で人気キャラクター、お菓子メーカーとのタイアップ景品を積極的に展開したことにより、全体の売上回復に大きく貢献いたしました。メダル部門においては、10月にアクリル板設置による飛沫感染対策を全店完了させるとともに、メダルガラポン等の集客イベントを実施いたしました。こうした取組みにより、第3四半期連結会計期間の既存店前年比は85.2%となり、第2四半期連結累計期間の既存店前年比と比較し42.7ポイント増となりました。

11月18日にオープンしたモーリーファンタジーふじみ野店には、お客さま用の手洗い場、メダル洗浄機、光触媒方式による除菌機、換気促進のためのシーリングファンなどの感染対策設備を導入いたしました。今後も更に安全で安心な売場づくりを目指してまいります。またガチャ専門コーナー「TOYS SPOT PALO」を第3四半期連結累計期間において新たに24ヶ所展開し、11月末時点で44ヶ所となりました。当第3四半期連結累計期間は5店舗の新規出店をする一方で、不採算店舗等8店舗を閉店し、2020年11月末の店舗数はF C 2店舗を含め432店舗となりました。

以上の結果、国内事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高252億6百万円(前年同期比43.9%減)、営業損失57億33百万円(前年同期営業利益33億8百万円)となりました。

(中国事業)

中国事業は、新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向となり売上回復が進んでおります。特に国慶節を含む10月度の既存店前年比が110.0%と好調に推移したことにより、第3四半期連結会計期間の既存店前年比は102.1%となりました。一方で、店舗勤務時間管理の徹底、賃料減額交渉の継続、本部スタッフの人員削減による本社機能のスリム化など経費削減を徹底し、第3四半期連結会計期間の営業損失は前年同期間と比べ3億80百万円改善いたしました。

当第3四半期連結累計期間は不採算店舗11店舗を閉店し、2020年11月末の店舗数はF C 5店舗を含め209店舗となりました。

以上の結果、中国事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高43億79百万円(前年同期比31.1%減)、営業損失2億72百万円(前年同期営業損失8億64百万円)となりました。

(アセアン事業)

アセアン事業は、11月末時点でマレーシア、タイ、インドネシア、ベトナムが営業再開をしております。ベトナムは順調に売上の回復が進み、11月度は既存店前年比が106.4%となりました。タイも10月に発生した大規模なデモにより一時的に回復が鈍化いたしました。11月度の既存店前年比は87.5%となりました。一方、インドネシアとマレーシアは首都圏を中心に政府の規制による一部店舗の休業など売上に影響を受けており、フィリピンについては全店舗の臨時休業が続いております。

当第3四半期連結累計期間に3店舗の新規出店をする一方で、不採算店舗等9店舗を閉店し、2020年11月末の店舗数はFC3店舗を含め219店舗となりました。

以上の結果、アセアン事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高7億60百万円(前年同期比83.7%減)、営業損失11億88百万円(前年同期営業利益47百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、113億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億75百万円減少いたしました。主な内訳は、前連結会計年度末日が金融機関の休日であり、売上預け金のうち2月上旬分が翌営業日に決済されたことによる売上預け金の減少(17億62百万円)、景品在庫圧縮によるたな卸資産の減少(3億22百万円)、現金及び預金の増加(16億19百万円)であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、428億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億87百万円減少いたしました。主な内訳は、投資の抑制による遊戯機械の減少(14億9百万円)及び建物の減少(9億83百万円)、使用権資産の減少(9億47百万円)、投資その他の資産その他(繰延税金資産)の増加(21億74百万円)であります。

この結果、総資産は542億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億62百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、289億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ98億48百万円増加いたしました。主な内訳は、短期借入金の増加(99億89百万円)、未払費用の増加(6億50百万円)、在外連結子会社における1年内返済予定の長期借入金の減少(6億69百万円)であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、78億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億72百万円減少いたしました。主な内訳は、在外連結子会社におけるリース債務の減少(10億80百万円)及び長期借入金の減少(5億41百万円)であります。

この結果、負債合計は367億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ81億75百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、174億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ96億38百万円減少いたしました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上(85億56百万円)、剰余金の配当による減少(7億90百万円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月25日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,132,140	5,751,202
売掛金	261,475	170,479
売上預け金	2,904,421	1,141,926
たな卸資産	2,797,910	2,475,825
その他	1,769,536	1,850,837
流動資産合計	11,865,484	11,390,271
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,896,962	5,913,174
遊戯機械(純額)	22,869,636	21,460,579
使用権資産(純額)	5,067,528	4,119,966
その他(純額)	2,161,568	2,159,421
有形固定資産合計	36,995,695	33,653,141
無形固定資産		
のれん	242,796	185,783
ソフトウェア	772,013	942,113
その他	4,420	4,533
無形固定資産合計	1,019,231	1,132,430
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	4,221,254	4,294,188
その他	1,637,915	3,807,311
投資その他の資産合計	5,859,169	8,101,500
固定資産合計	43,874,096	42,887,072
資産合計	55,739,580	54,277,344

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,160,533	1,497,751
短期借入金	5,402,819	15,392,283
1年内返済予定の長期借入金	2,868,614	2,199,295
リース債務	2,028,102	1,865,488
未払費用	1,677,617	2,327,854
未払法人税等	563,134	454,875
賞与引当金	339,572	416,654
役員業績報酬引当金	19,676	9,069
閉店損失引当金	56,552	35,325
設備関係支払手形	1,866,948	1,884,244
その他	3,084,888	2,833,915
流動負債合計	19,068,459	28,916,757
固定負債		
長期借入金	4,466,085	3,924,197
リース債務	3,854,006	2,773,937
退職給付に係る負債	371,690	352,574
資産除去債務	610,326	611,969
その他	240,373	207,395
固定負債合計	9,542,482	7,870,074
負債合計	28,610,942	36,786,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,785,403	1,798,427
資本剰余金	4,804,046	4,817,070
利益剰余金	20,644,877	11,298,519
自己株式	△3,190	△3,370
株主資本合計	27,231,138	17,910,646
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△401,806	△477,742
退職給付に係る調整累計額	△190,896	△170,023
その他の包括利益累計額合計	△592,703	△647,766
新株予約権	67,389	48,551
非支配株主持分	422,814	179,080
純資産合計	27,128,638	17,490,512
負債純資産合計	55,739,580	54,277,344

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
売上高	55,694,580	30,230,868
売上原価	49,029,518	33,885,663
売上総利益又は売上総損失(△)	6,665,062	△3,654,795
販売費及び一般管理費	4,176,196	3,541,823
営業利益又は営業損失(△)	2,488,865	△7,196,619
営業外収益		
受取利息	56,625	61,117
為替差益	—	23,003
受取保険金	30,789	17,323
固定資産売却益	3,021	393
預り金受入益	20,865	18,877
リース解約益	—	243,297
その他	36,632	63,764
営業外収益合計	147,933	427,776
営業外費用		
支払利息	574,740	599,738
為替差損	26,703	—
固定資産売却損	141,395	34,014
その他	29,921	17,505
営業外費用合計	772,759	651,258
経常利益又は経常損失(△)	1,864,039	△7,420,101
特別利益		
店舗家賃免除益	—	956,042
雇用調整助成金	—	510,314
特別利益合計	—	1,466,356
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	18,956	27,830
減損損失	562,469	351,248
店舗閉鎖損失	20,809	83,896
店舗休止損失	—	4,277,371
感染症対策費	—	121,658
特別損失合計	602,234	4,862,005
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,261,804	△10,815,750
法人税、住民税及び事業税	1,395,361	166,137
法人税等調整額	△229,756	△2,197,466
法人税等合計	1,165,604	△2,031,329
四半期純利益又は四半期純損失(△)	96,199	△8,784,420
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,143	△228,211
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	112,343	△8,556,209

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	96,199	△8,784,420
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△249,725	△91,457
退職給付に係る調整額	8,762	20,873
その他の包括利益合計	△240,963	△70,584
四半期包括利益	△144,763	△8,855,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△114,435	△8,611,272
非支配株主に係る四半期包括利益	△30,328	△243,733

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(追加情報)

(重要な会計上の見積り：有形固定資産の減損テスト)

当社グループは、当四半期連結会計期間末日現在、有形固定資産33,653,141千円を計上しており、資金生成単位グループより生じることが予想される将来キャッシュ・フロー及び現在価値の算定をするために割引率を見積り、有形固定資産の減損テストを実施しております。

当社グループは、有形固定資産の減損テストにおける予想される将来キャッシュ・フローの見積りに、各地域の新型コロナウイルス感染症の影響として、行政当局の要請による臨時休業期間の予測及び営業再開後の売上高回復予測などの仮定を含めております。また複数のシナリオに基づく感応度分析を実施しております。具体的には、営業再開した店舗の売上高について当連結会計年度中に回復すると仮定しておりましたが、各地域の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、一部地域は翌連結会計年度中に回復するとの仮定へと変更し、有形固定資産の減損テストにおける予想される将来キャッシュ・フローの見積りを行っております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,659,665	6,355,457	4,679,457	55,694,580	—	55,694,580
セグメント間の内部売上高又は振替高	234,920	—	—	234,920	△234,920	—
計	44,894,585	6,355,457	4,679,457	55,929,501	△234,920	55,694,580
セグメント利益又は損失(△)	3,308,660	△864,156	47,447	2,491,951	△3,085	2,488,865

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「国内」セグメント64,116千円、「中国」セグメント437,638千円、「アセアン」セグメント60,714千円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,090,973	4,379,268	760,626	30,230,868	—	30,230,868
セグメント間の内部売上高 又は振替高	115,503	—	—	115,503	△115,503	—
計	25,206,476	4,379,268	760,626	30,346,371	△115,503	30,230,868
セグメント損失(△)	△5,733,789	△272,782	△1,188,655	△7,195,227	△1,391	△7,196,619

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「国内」セグメント21,143千円、「中国」セグメント123,204千円、「アセアン」セグメント206,900千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。